

## 研究課題「日本における薬剤耐性菌アウトブレイク（統計学的集積）の自動検出」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2010（平成 22）年 1 月 1 日～2016（平成 28）年 12 月 31 日に当院を受診し、一般細菌検査（培養同定・薬剤感受性検査）を受けられたことのある方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### <目的>

薬剤耐性菌は、最も重要な公衆衛生学上の脅威のひとつとして認識されており、患者の治療困難、死亡率の上昇などの弊害をもたらしています。本研究では、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)に参加する医療機関のデータを用いて、WHONET-SaTScan による日本全国の薬剤耐性菌アウトブレイク（統計学的集積）の自動検出を行い、薬剤耐性菌アウトブレイクの重要度を分類するアルゴリズムの開発と検証を行います。

#### <方法>

WHONET-SaTScan の重要度分類アルゴリズムにより検出された薬剤耐性菌アウトブレイク情報と、医療機関の匿名化した細菌検査データと診療データおよび薬剤耐性菌アウトブレイクへの対応を照合し、重要度分類アルゴリズムの妥当性を検証します。

#### <研究期間>

研究実施承認日～2019（平成 31）年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

匿名化した細菌検査データ、基礎疾患・使用していた血管カテーテル等のデバイスや抗菌薬・薬剤耐性菌による感染症の有無等の臨床情報

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターである国立感染症研究所薬剤耐性研究センターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態（郵送もしくは暗号化した電子媒体）で行います。連結可能匿名化した対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学・教授・八木 哲也  
名古屋大学大学院医学系研究科・特任助教・井口 光孝

名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部・助教・富田 ゆうか、森岡 悠  
名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部・医員・手塚宜行、岡 圭輔

国立感染症研究所薬剤耐性研究センター・主任研究官・矢原 耕史  
国立感染症研究所薬剤耐性研究センター・研究員・筒井 敦子  
国立感染症研究所薬剤耐性研究センター・非常勤研究員・森井 大一  
群馬大学医学部保健学科・非常勤講師・佐竹 幸子  
帝京大学大学院公衆衛生学研究科・大学院生・藤本 健一

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内  
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの  
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先ま  
でお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

466-8560

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部 井口 光孝

052-744-2477

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学・教授・八木 哲也

研究代表者：

国立感染症研究所薬剤耐性研究センター・主任研究官・矢原 耕史